

2) 龍門神社への参拝客

下宮地区にある龍門神社は初詣、5月の宝満山入峰、春と秋のえんむすび大祭など年間を通して祭りが行われ、多くの参拝者が訪れている。特に春のさくら祭り、秋のもみじ祭りでは夜間ライトアップにより夜の参拝も賑わう。

また、境内には本殿、拝殿のほか、水鏡、再会の木(マメ科サイカチ)、愛敬の岩など良縁成就を願うスポットがある。再会の木は神功皇后が三韓出兵の際、宝満山山頂にサイカチの木を植えられ、凱旋ののちの再会を祈念したことに由来し、好きな人との再会や縁結び等を祈ればきっと叶うと言われている。また、愛敬の岩は目を閉じて、片方の岩からもう片方の岩まで無事歩ききれば恋が叶うと言われている。一度でたどり着ければ成就が早く、人にアドバイスを受けてたどり着いたときは、人の助けを借りれば恋が成就すると言われている。これらの縁結びのご利益を受けるため、近年女性の参拝者が急増している。宝満山中では座主跡近くに再会の木の巨木、座主跡から女道を下った薬師堂跡近くに愛敬の岩がある。



写真 2-36 龍門神社参拝の様子



写真 2-37 龍門神社 紅葉



写真 2-38 再会の木 龍門神社境内



写真 2-39 愛敬の岩 龍門神社境内



写真 2-40 お札お守り授与所 龍門神社境内



写真 2-41 宝満山山頂から望むご来光

表 2-4 龍門神社参拝者数（平成 25～29 年度 年度別、月別） 龍門神社提供資料 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	19,000	21,000	17,000	13,000	26,000	39,000	43,000	100,000	38,000	137,000	50,000	45,800	548,800
H26年度	41,000	46,300	34,600	28,000	34,200	44,000	54,000	107,400	47,000	171,000	57,300	64,300	729,100
H27年度	52,000	51,600	28,500	28,900	34,800	42,500	48,400	116,400	66,700	165,000	60,000	67,050	761,850
H28年度	57,900	92,500	73,600	46,400	47,200	45,300	60,500	141,200	66,100	223,000	69,800	72,570	996,070
H29年度	60,200	57,000	43,200	40,500	47,400	38,800	43,400	137,000	57,500	174,900	47,600	77,190	824,690
月別平均	46,020	53,680	39,380	31,360	37,920	41,920	49,860	120,400	55,060	174,180	56,940	65,382	772,102

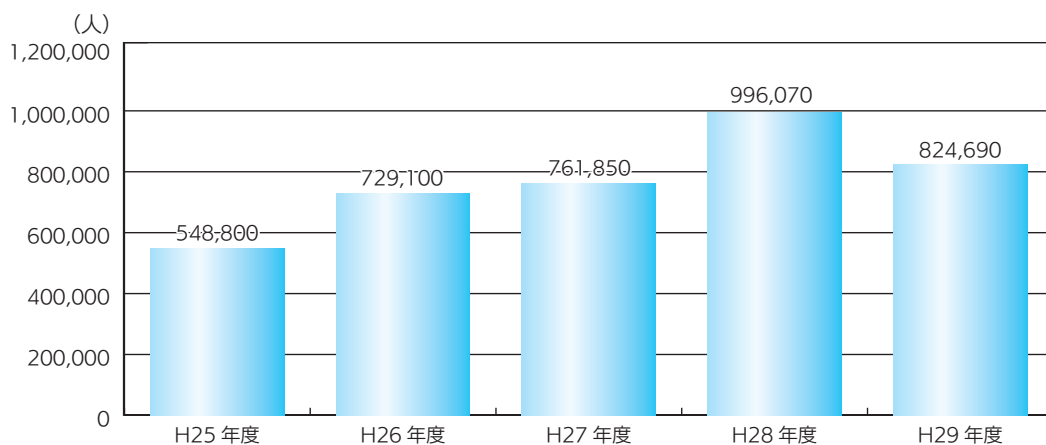


図 2-18 龍門神社年度別参拝者数（平成 25～29 年度） 龍門神社提供資料

3) 遭難者

登山者が山中で遭難事故にあうケースがここ 10 年ほどで常態化している。筑紫野太宰府消防本部が対応した過去の年間件数は、平成 25 年(2013)が 12 件、26 年(2014)が 9 件、27 年(2015)が 13 件、28 年(2016)が 11 件、29 年(2017)が 12 件であり、おおよそ毎月レスキューによる出動が続いている。発生案件には一定の傾向があり、登拝道の休堂跡から山頂手前までの間は転倒・負傷、疼痛、山頂付近の岩場周辺では滑落事故、山頂から東院谷地区では道迷い、下山不能

状況での通報が多い。また、全域で体調不良による歩行困難での救助要請が見られる。体調不良、転倒・負傷、疼痛は圧倒的に高齢者である傾向があり、道迷いは年齢層に関係なく経験不足や事前のルート確認不足や同伴者の不注意が原因とみられる。下山不能の状況は装備不足、知識不足が影響している。ある例では下山不能で不意の山中での野宿となり、植樹されたツクシシヤクナゲの枝を折って焚火した例なども報告されている。都市近郊の人気のある山であるがゆえ、気軽な気持ちでの入山が遭難に至っていることが読み取れる。

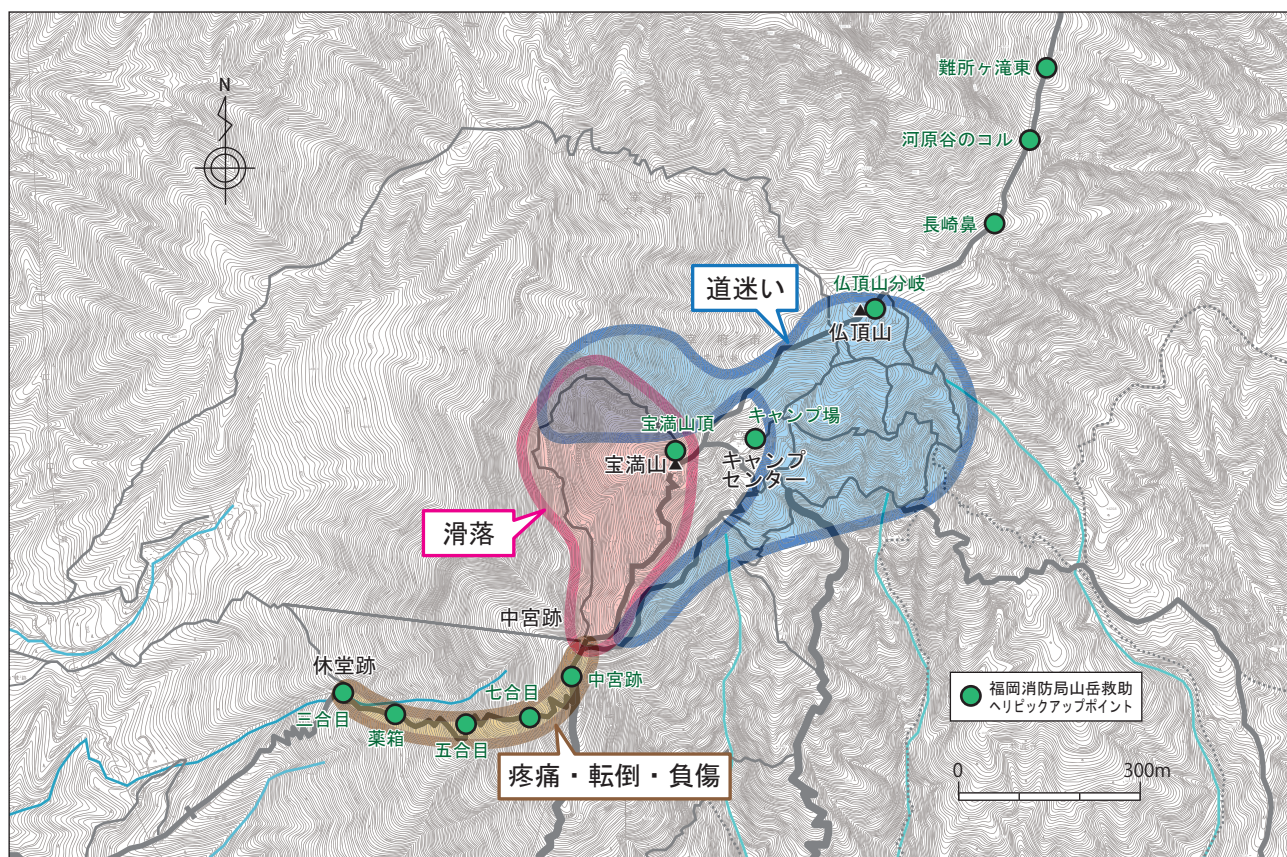


図 2-19 宝満山の主な種類別遭難出現傾向



写真 2-42 山頂付近の岩場（鎖場）



写真 2-43 登拝道に設置された薬箱